

森林・農地の国民的経営と選択的管理（その1）
【特にご検討いただきたいポイント】

1. 国民的経営について

多様な主体の参加は、特に森林管理について喫緊の課題であり、多様な主体の参加を促すことが重要である。そのためには、専門的な林業従事者やボランティアに加え、「兼業森林管理者」とでも言うべき「第3の主体」を育成することが重要と考えるがどうか。

また、国土計画としては、21世紀の国土のグランドデザインにおける「多自然居住地域」のように、山村や農村に新たな価値を見出し、提言することが重要と考えるが、新たな山村、農村の見方があり得るか。

2. 選択的管理について

森林・農地ともに、長期的には、施業放置林・施業困難林の天然林化や耕作放棄地・耕作困難地の粗放管理すら困難になる事態も否定できない。そうなった場合、どのような対策を講ずべきか。

3. 国の役割について

森林・農地の管理に関して、上記2のような事態になっても、かつ、地域の主体性を最大限に尊重するとして、国が最後まで果たすべき役割についてどのように考えればいいのか。

例えば、安定的な食料供給のための農地管理、CO₂吸収源としての森林管理などがこれに当たるのか。